公益社団法人　隊友会　https://www.taiyukai.or.jp/

参議院比例区は応援する候補者名を記載しましょう
2001年の参議院通常選挙から非拘束名簿式（各候補者の個人名の得票数の多い人が上位になる）に移行しました。
なお、政党名でも有効です。

隊友

令和7年7月15日
第855号　毎月1回・15日発行
発行所　公益社団法人 隊友会本部
〒162-8801 東京都新宿区市谷本村町5番1号
電話　03(5362)4871・FAX4876
購読料　1カ月120円（税込み送料別）、1カ年1,700円（税込み送料共）
kouhou@taiyukai.or.jp

隊友web版は2次元コードからアクセスできます。

隊友会　令和7年度定時総会等を開催

隊友会は6月24日、令和7年度定時総会及び式典をホテルグランドヒル市ヶ谷で開催した。式典では来賓及び感謝状贈呈者を招待、懇親会には約160名が参加した。

県会長等会同

定時総会に先立ち、県隊友会長会同が実施され、岩崎理事長の冒頭挨拶（別掲載）後、次の3項目の説明があった。

①令和7年度政策提言案の6つの重点項目：憲法改正、安全保障政策の見直し、防衛力の強化、人的基盤の強化、安全保障に関する国民全体の意識高揚及び日米同盟の更なる進化。

②防衛省・自衛隊家族会・隊友会間で締結された新たな中央協定について：○協定は既存の陸海空自協定とほぼ同じだが、対象範囲を拡大し、家族支援の周知任務が新設、○家族支援任務（主に安否確認と必要な支援）に大幅な変更なしなど。

③令和7年度本部の新たな取り組み：○電磁的投票・議決権行使システムの導入および2次元コードによる利便性向上、○隊友紙のWeb化施行については紙版希望者への対応も検討、○引越見積支援サービスの利用拡大と新たな還付要領、○アウトソーシング支援業務に積極的に関与、募集状況の情報共有に着意、○コミュニティスクールや地域学校協同活動への関与・連携強化など。

これに対し、民間力の活用については「自衛隊OBの活用を期待しているが、一般競争入札による採用形態に課題がある」「勤務期間が1年であることには継続性に不安がある」などの意見が出された。

議長の和田会長（左）と副議長の武政会長

定時総会

総会は、前後段に分けて実施し、藤井隊友会本部事務局長からの総会成立宣言の後、議長に和田良作・札幌地方隊友会長を、副議長に武政賢一・大阪府隊友会長を選出して討議に移り、令和6年度の事業報告、収支決算及び役員選任の各議案（隊友5月号に同封）を満場一致で可決。その後の臨時理事会で常務理事の所掌報告があり、その内容が後段の総会で報告され、最後に本部表彰が行われた（4面に掲載）。

懇親会で談笑する現職と隊友会長等

式典・懇親会

引き続き実施された式典は、岩崎理事長の式辞の後、本田太郎防衛副大臣の祝辞（別掲載）があり、その後、感謝状及び表彰状の贈呈が行われた。

感謝状の贈呈では、陸海空幕僚長推薦の部隊等のうち、北宇都宮駐屯地、横須賀地方総監部、空自目黒基地の3個部隊等を招待し、贈呈式を実施した。（感謝状・表彰状の贈呈名簿は4面）

懇親会は、本田防衛副大臣、若宮健嗣防衛大臣補佐官、上田和幹陸上幕僚副長、齋藤聡海上幕僚長、小笠原卓人航空幕僚副長、関係団体代表など約160名の参加を得て、盛大に開催された。

全国執行役会

翌25日、本部担当執行役及び地域担当執行役による全国執行役会がグランドヒル市ヶ谷で行われ、「会勢の維持・拡大のための具体的方策」と「将来的な隊友会活動の在り方」の2つの議題を討論した。

前者については、会勢の維持・拡大に実績のある青森県隊友会中弘支部と兵庫県隊友会の各支部活動について、担当執行役から説明があり、入会促進施策と退会抑制施策について、特に退会を防止する「楽しい活動」などの具体的な意見が交わされた。

後者については、各県の収益事業拡大のアイデアや、SNSを活用した広報の検討、特別会員の積極的勧誘などの意見が提案された。

本田太郎防衛副大臣祝辞

防衛副大臣の本田太郎でございます。

本日は隊友会令和7年度定時総会にお招きをいただき、誠にありがとうございます。全国各地から隊友会の会長をはじめ本部役員執行役の皆様が一同に介され、活発な議論と交流が行われたと伺っております。皆様のご尽力により隊友会が一層の発展を遂げていることに心より敬意を表します。

隊友会の皆様には自衛隊員や入隊予定者に対する温かい激励をいただいているほか、防衛セミナーの開催や地域における広報活動などを通じた防衛意識の普及と雇用に多大なる貢献をいただいております。こうした活動は我が国の平和と安全を支える重要な柱であり、防衛省自衛隊にとっても大きな力となっております。改めまして皆様のご理解とご支援に深く感謝を申し上げます。

近年、わが国を取り巻く安全保障環境は一層厳しさを増しております。自然災害の頻発に加え、周辺国地域における軍事力の増強や軍事活動の活発化など、我が国の安全保障に直結する事象が多発しております。こうした状況の中、自衛隊員は昼夜を問わず災害派遣や警戒監視、国際平和協力活動などに献身的に取り組んでおり、自衛隊員がより安心して任務に従事できる環境を整えることが急務となっています。

政府としても昨年10月に石破総理を議長とする「自衛官の処遇・勤務環境の改善及び新たな生涯設計の確立に関する関係閣僚会議」を設置し、本年6月まで計5回の会議を実施いたしました。この会議で得られた各施策を着実に進めていくことが何よりも重要であり、引き続き人的基盤の抜本的強化に取り組んでまいります。

また本年3月に防衛省と隊友会及び自衛隊家族会の間で全ての隊員を支援対象とする協定を締結いたしました。この協定により家族支援のさらなる充実が期待されます。

これらの施策により自衛隊員が安心して任務に取り組める環境を一歩一歩整えておりますが、こういった環境の整備、ひいては国の防衛は防衛省自衛隊のみで達成できるものではございません。

隊友会の皆様による隊員への温かい激励や、先ほど申し上げた協定を通じた隊員ご家族へのご支援のように、国民の皆様の理解と協力、そして隊友会の皆様のような支援団体の存在があってこそ、真に強固な防衛基盤が築かれるものと確信しております。ほかにも一層厳しさを増す自衛官の募集環境において、国民の皆様と防衛省自衛隊との信頼関係を築くことはこれまでになく重要となっており、隊友会の皆様の存在はより大きなものとなっています。隊友会の皆様には今後とも国民と自衛隊とのかけ橋として、地域社会における防衛理解の促進、若い世代への啓発活動、そして自衛隊員へのご支援にご尽力を賜りますよう心よりお願いを申し上げます。

最後になりますが、隊友会の今後ますますのご発展と皆様のご健勝ご多幸を祈念申し上げまして、私のご挨拶とさせていただきます。

令和7年度 県隊友会長等会同挨拶

公益社団法人　隊友会理事長　岩崎　茂

県隊友会長等会同にあたりまして、一言ご挨拶申し上げたいと思います。まず、初めに5月14日、残念ながらT-4の事故で2名の自衛官がお亡くなりになりました。ここに慎んで哀悼の誠を捧げるとともにお悔やみを申し上げたいと思います。22日に新田原基地で葬送式が行われ、隊友会を代表して米満宮崎県隊友会長が参加されました。感謝申し上げます。

さて県隊友会長等会同、最近は時間的な間隔が本当に短く感じ、つい最近行ったようなイメージがありましたが、この1年は隊友会にとっても実りの多い年だったのではないかと思います。

その一つが、昨年の12月、自衛官の処遇に関する基本方針というのが策定されました。この自衛官の処遇というのは皆さん実感をされた通り、本当に今まではある意味では冷たいものだったというふうに思いますけれども、今は総理がリーダーとなって全閣僚が入り、この自衛官の処遇改善のためにいろいろな施策をやってくれています。

私たち隊友会は50年以上前から政策提言を行っているのですが、3自衛隊のOB会と一緒になったのが9年前、今年が10年目ですが、4団体で防衛省に対して、また与党自民党、公明党の方々に対して提言を行ってきています。この中にも当然のことながら自衛官の処遇または名誉等についての色々な提言をしてまいりました。その効果が少しずつ、このような施策に繋がったのではないかと思っています。今後とも、しっかりとこの政府が行う自衛官の処遇、いろいろな改善等をしっかりと見極めながら、まだまだ足りないところが出てきたら、私たちがそこをまた何らかの形で政策提言をしていけばと思っています。

また今年の3月14日、自衛隊員の家族に対する支援協定を、隊友会、自衛隊家族会と一緒に防衛大臣と結ぶことができました。自衛隊員が災害派遣等で自宅を不在にするとき、隊員の家族をしっかりと支援するという協定です。今まで現職隊員にとって、自衛隊家族会は比較的身近に感じるものですが、隊友会はそれほど認識されていなかったのかもしれません。しかし今後は、隊友会・自衛隊家族会の会員が家族のところに行って、色々なご支援をするということですので、それぞれの基地や駐屯地の隊員が隊友会の名前を認識してくれるのではないかと私は考えています。

今、入会率が非常に落ちてきていますが、こうしたことで、少しでも歯止めがかかるのではないかと私は感じているところです。そのようなことから、この1年間は大変実りが多い年だったのではないかと思います。

それから5年前から始めました引越見積支援サービス、これも非常に知名度が高くなって利用者が増えています。これは皆様方が各県等でいろいろな活動をしてくれているおかげだと思っています。また、アウトソーシング支援事業も定着しつつあります。いずれにしても、隊友会は各県の皆様方の活動がないとなかなかうまく回っていかないと思っています。今年度は、隊友会の在り方を再度検討しようと思っていますので、また皆様方の色々なご意見を拝聴しながら、将来の方向を見定めていきたいと思います。

今日は遠路はるばるこの市ヶ谷に集まっていただきありがとうございました。それから日頃隊友会のために、または現職隊員のためにご尽力いただいている皆様方に感謝を申し上げ、私からの挨拶とさせていただきます。

令和7年6月24日

隊友会　パンフレットをリニューアル

隊友会は、6月にパンフレットをリニューアルしました。
（隊友会HP参照）

隊友会寄付者芳名

滋賀県特別会員
奥村　直広　様　5千円
海上自衛隊
竹内　修　様　1万円
（六月三十日現在）

柏駅 徒歩5分　離婚・相続・不動産紛争・債務整理 交通事故・顧問業務等のことなら

今野・髙島法律事務所

弁護士　今野　遼
弁護士　髙島圭介

当事務所は、離婚・相続・債務整理・交通事故といった個人の方のお悩みから、顧問契約等の法人の方に対するリーガルサービスまで、幅広い法律問題に対処いたします。
法律に関することでお悩みの方は、ぜひお気軽に当事務所をご利用ください。もちろん、依頼者のプライバシーは厳守いたします。

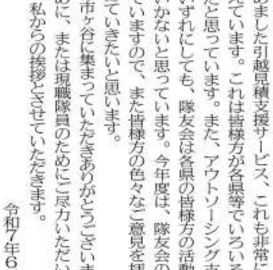
●営業時間：平日 9:30〜17:30（夜間相談可、お問い合わせください）
●相談料：初回30分無料
法律に関わる問題でお悩みの方は、まずはお電話・ホームページからお問い合わせください。

〒277-0025
千葉県柏市千代田1-2-51 エスティビル3階
Tel:04-7196-7656　Fax:04-7196-7658
HPアドレス：http://ti-law.jp

2026年 自衛隊統合カレンダー

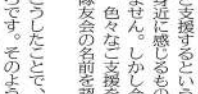
自衛隊カレンダーの売上部数ナンバーワン！「躍動」

月別写真の例（各月の写真はホームページでご覧いただけます。）



（1月）雲峰 富士とC-1輸送機

（2月）「じんげい」自衛艦旗掲揚


（3月）92式地雷原処理用ロケット弾

隊友会会員特別価格
定価1815円（税込）を
1430円（税込総額表示）【送料別】
申込受付中！（10月以降発送）

●構成／表紙とも で13枚（カラー写真）　●大きさ／B3判　タテ型

昭和55年創業 自衛隊OB・OG会社　TEL:03-3266-0961 FAX03-3266-1983
株式会社 タイユウ・サービス　ホームページ タイユウ・サービス 検索
〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町3番20号 新盛堂ビル7階

明治安田

諦めない、その生き方が奇跡を起こした。

北原かな子さま・青森県

ひとに健康を、まちに元気を。
明治安田

ひとに健康を、まちに元気を。　みんなの健活プロジェクト　健康を、いっしょに育てよう。　地元の元気プロジェクト　つながり、ふれあい、ささえあう地域社会を。

明治安田生命保険相互会社　〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-1-1　www.meijiyasuda.co.jp